

山梨北中学校周辺地図



授業研究会申込み

次の用紙にご記入いただき、11月5日(木)までに峡東教育事務所へFAXにてお知らせください。

峡東教育事務所 FAX 0553-20-2733

*11月5日(木)までをお願いします。

| 学校 | | 記者氏名 | | | | | |
|-----------------|-------|------|--------|-----|----|------|--------|
| 授業研究会 11月26日(木) | | | | | | | |
| No. | 氏名 | 参加希望 | 授業 研究会 | No. | 氏名 | 参加希望 | 授業 研究会 |
| 例 | 山北 太郎 | 1年3組 | ○ ○ | 8 | | | |
| 1 | | | | 9 | | | |
| 2 | | | | 10 | | | |
| 3 | | | | 11 | | | |
| 4 | | | | 12 | | | |
| 5 | | | | 13 | | | |
| 6 | | | | 14 | | | |
| 7 | | | | 15 | | | |

平成27年度山梨県教育委員会授業改善プラン実践事業推進校
山梨北中学校「授業研究会」のご案内

標記事業の推進校であります、山梨市立山梨北中学校におきまして、次の内容で授業研究会を開催いたします。
つきましては、本案内をご覧いただき、ご参会いただきますようお願いいたします。

確かな学力の向上をめざす
学習指導に関する研究

～思考活動の充実による授業改善～
(2年次)



1 日 時

《授業研究会》 平成27年11月26日(木)

1学年理科, 2学年数学, 2学年英語の授業研究会を行います。

2 会 場

山梨市立山梨北中学校
(山梨市小原東359-1 TEL 0553-22-0200)

3 日 程

- ◇ 受 付 14:00 ~ 14:15 (正面玄関)
- ◇ 授業公開 14:15 ~ 15:05
1年理科 第3理科室
2年数学 2年4組教室
2年英語 2年3組教室
- ◇ 授業研究会 15:15 ~ 16:45 (各教室)

◆◆◆ 山梨北中学校の研究の概要 ◆◆◆

山梨北中学校では、4月、5月に昨年度末までの研究を振り返り、また、全国学力・学習状況調査などの結果分析を進める中で、成果と課題について確認しました。課題の中では、特に、次の内容に注目しています。

*平成26年度全国学力状況調査による本校の結果では、国語A問題では前年度よりも正答率が高くなっている。一方、国語B問題では、「書くこと」39、7%、「読むこと」45、6%と前年度よりも低く、B問題では無解答率も増えている。数学では、A問題B問題とも「資料の活用」が低く、資料から必要な情報を読み取ることに課題があると考えられる。また、記述問題になると正答率が低くなる（45、2%）とともに無解答率も30、1%と高くなる。

平成26年度山梨県学力把握調査において、国語では記述式が低いことがわかった。同様に、数学の記述式では38、0%英語の記述式では52、5%、英語では「書くこと」の領域でも38、4%とともに低い正答率になっている。無解答率も記述式の問題で高くなっている。どちらの調査からも、本校の生徒は「考えて書くこと」に課題がある。そのため、学習活動においては思考させる場面を多く取り入れたり、思考力を高める活動を取り入れる必要があると考える。

こうしたことから、山梨北中学校では、次の研究主題、取組内容を掲げ、研究を進めています。

— 研究主題 —

「確かな学力の向上をめざす学習指導に関する研究」
～思考活動の充実による授業改善～

— 取組内容 —

- 1 授業形態の改善と統一を進める。（「山北スタイル」づくり）
- 2 基礎学力定着の取組を継続する。
 - (1) 自主学習ノートの作成
 - (2) スコラ手帳の活用（書く習慣・時間を意識する習慣・考える習慣）
 - (3) 朝学習 → 読書活動の定着、「書くこと」の定着「作文」の実施
 - (4) 山北サポートタイム → 基礎基本の定着、年間10回実施
定期テスト前には放課後「自学の時間」として質問を受けての指導や、自主学習をする時間を確保。夏休みには、「夏季学習会」として、基礎学習や個別の課題を指導する時間を各学年・各教科で設けている。（H26年度は延べ57回実施）
- 3 教材・教具の工夫と開発を進める。
 - (1) 授業改善に関わって、生徒の理解を支援する教材・教具の工夫と開発
 - (2) 県教委の授業改善プランに関わる教材・教具の工夫と開発
 - (3) 各調査の結果で、課題が見られた単元の教材・教具の工夫と開発
- 4 教科に関わる掲示物を工夫する。
 - (1) 学力向上につながる、教材（図表・ポスター・授業関連資料等）の掲示や、話型（授業の受け答え・やりとりのパターン）の掲示をする。
 - (2) 教科や学年ごとに、共通の教室掲示板を設ける。廊下や特別教室等にも設ける。
 - (3) 掲示物は定期的に張り替える。
- 5 授業改善プランを生かして研究実践を進める。



◆◆◆ 公開授業の概要 ◆◆◆

《1年理科》 授業者：村田 裕紀 教諭（1年3組）



単元名「第3章 力と圧力 6 圧力」

- NRT検査の結果（1年）より
1年生は、ふりこやてこなどの「エネルギー」に関する項目が全国正答率と比べて低い傾向があり、基礎的な部分の正答率も低い。また、基本事項の理解不足から、思考力や表現力が問われる問題の正答率も低い傾向がある。
- 授業の様子より
自分の考えをまとめて表現したり、図や言葉を使って説明することを苦手としている生徒が多い。学習した基礎的な知識や方法をどのようにして活用していくかという課題を克服するために、圧力の公式を導き出すより良い考え方を「話すこと」の言語活動を行う中で、授業を行いたい。

《2年数学》 授業者：橋爪 裕幸 教諭（2年4組）



単元名「第4章 平行と合同 1節 平行線と角」

- 山梨県学力把握調査において、日常的な事象を理想化・単純化して、数学的な表現を用いて説明する問題の正答率が低かった。この課題を克服するために、平面図形の敷き詰めという日常的な題材を用いて、理想化・単純化の便利さを伝えるとともに、数学的な表現による説明をするような授業を行いたい。

《2年英語》 授業者：広瀬 竜太 教諭（2年3組）



単元名「Multi Plus2 町紹介」

- NRT検査の結果（2年）より
「基本的な単語や英文を書くこと」の項目で、全国と比べてやや低い正答率になっている。
- 山梨県学力把握調査の結果（2年）より
領域では「書くこと」、評価の観点では「外国語表現の能力」、問題形式では「記述式」の問題に課題がある。
設問ごとに見ると、問題番号9の設問の正答率が、低かったことから、「自分の意思や考えを英語で書いて、相手に伝える」能力を高める必要がある。
この課題を克服するために、「町紹介」という日常的な題材を用いて、「書くこと」の言語活動を行う中で、授業を行いたい。